



岐阜県立
斐太高等学校
学校案内 2026



創立139年 めざすものは、豊かな心と主体性

校訓

せつ さ たく ま かっ こ ふ ばつ
切 磋 琢 磨 確 乎 不 拔

教育方針

豊かな心と主体性を育み、幅広い知識と高い学力を身に付けることで、多様な社会に対応できる創造性豊かな人材を育成する。

スクール・ミッション

地域に貢献し、社会を牽引する人材を輩出してきた高校として新たな知識と幅広い教養を主体的に獲得する教育活動を通して多様な価値観を尊重し、未来の創造に向けて真摯に挑戦するリーダーの育成を目指す学校

スクール・ポリシー

◆グラデュエーション・ポリシー (GP) 『育てたい生徒像』

- 生涯にわたり探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒
- 多様性を尊重し他者と協働することができ、国際社会の持続的発展や平和に貢献することができる生徒
- 地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してもグローバルな視点からアプローチすることができる生徒

◆カリキュラム・ポリシー (CP) 『生徒をどう育てるか』

- 生徒一人一人の興味・関心が引き出され、深い学びと進路実現を可能にするバランスの取れたカリキュラムの編成とICTの活用や少人数によるきめ細かな指導
- 地域や社会と連携した探究的な学習や体験活動等を通じて、教科横断的な学び、協働的な学びを推進するとともに柔軟な思考力を醸成
- 生徒を主体として運営される様々な行事を通して、創造的企画運営力やリーダーシップ、チャレンジ精神を育成

◆アドミッション・ポリシー (AP) 『どんな生徒を待っているか』

- 学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒
- 自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切に自他の個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒
- 広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト（自らの課題）として捉えることができる生徒

設置課程・学科

全日制の課程（令和元年度入学生より単位制による全日制の課程）
普通科（前期・後期 二期制）

校章



明治32年、当時斐太中学校の図画科の担当であった田島稻三氏の考案にかかる。『中』の字を基調として「蜻蛉島」（あきつしま）に雄飛せんとする意図を込めたという。大町桂月・幸田露伴らから高く評価されたと伝えられる。

校歌

県内で最も歴史、由緒あるもので、明治41年の元旦の拝賀式から歌われ始め、当時のまま百年以上長きに渡って歌い続けられている。

校名

この地方の呼び名を「日本書紀」では「飛騨」、それ以前の表記として「万葉集」では「斐太」、国造本紀・賦役令では「斐陀」とあり、「斐太」という校名は「万葉集」の「斐太」に拠るものである。

斐太中学校校歌
斐太中学校 國語科 教員 作曲
東京音楽学校助教授 楠美恵三郎 作曲

一
そそり立ちたる乗鞍の山
たぎち流るる宮川の水
山と水とを後に前に
控へて抱きてわれ等は集ふ

二
久遠の理想はゆくてを照し
自然の靈氣はわれ等を包む
善友良師の導うけて
切磋琢磨の業をば積まむ

三
動かぬ山と汚れぬ水を
われ等の鑑といそしみ勵み
磨きあげなむ勲の眞金
拾ひ出さむ譽の眞玉

沿革

明治 19年 5月17日	飛騨三郡経営高山中学校開設
	6月1日を創立記念日とする
31年 7月18日	城山より現在地に移転
32年 4月 1日	岐阜県斐太中学校と改称
	蜻蛉の徽章制定
41年 1月 1日	校歌を制定
昭和 23年 2月29日	通信教育部併設
23年 4月 1日	学制改革により新制高等学校に昇格
23年 8月18日	岐阜県立斐太高等学校と称す
61年 6月 1日	創立100周年記念式典
平成 8年 6月 1日	創立110周年記念式典
9年10月 5日	通信制50周年記念式典
17年 4月 1日	通信制の課程飛騨高山高校へ移管
18年 6月 1日	創立120周年記念式典
28年 6月 1日	創立130周年記念式典

受け継がれる伝統 白線流し

毎年3月1日の正午頃、卒業証書授与式後に行なわれる行事です。学校の前を流れる大八賀川をはさんで、校舎側に在校生が、対岸には卒業生が並びます。在校生は「送別歌」とともに旅立つ先輩の門出を祝い、卒業生は「巴城ヶ丘別離の歌」を歌いながら想い出の詰まった校舎に別れを告げます。そのとき、卒業生は、友との永遠の友情を誓って制帽の白線とセーラー服のネクタイを1本に結び合わせ、高校3年間のなつかしい想いを込めて早春の川面に流します。「斐太高校ありがとう!!」… 叫ぶ先輩の姿を見て、斐太高校への想いと誇りが後輩へと受け継がれていくのです。

この白線流しは、旧制中学以来、80年以上続けられてきた、斐太高校の伝統ある行事です。





学校行事

高校生活を彩る

斐太高校は行事も盛んです！

文化祭（蜻蛉祭）・体育祭・球技大会・白線流しなどの行事は、生徒会が中心となって運営されています。



入学式



対面式



球技大会



蜻蛉祭



東京大学見学



体育祭



遠足

- 4 入学式
対面式
課題・実力テスト
ウォームアップクラス
生徒総会
- 5 球技大会
身体測定
体力テスト
学部学科説明会
- 6 創立記念式典
前期中間考査
進学講演会
- 7 蜻蛉祭
三者懇談
オープンキャンパス
- 8 東京大学見学
課題・実力テスト
- 9 体育祭
前期期末考査
- 10 一日入学
遠足
修学旅行
- 11 後期中間考査
- 12 三者懇談
- 1 課題・実力テスト
大学入学共通テスト
Hida.T-Academia発表会
- 2 学年末考査
- 3 卒業式
白線流し
合格者と語る会
海外研修



修学旅行



修学旅行



白線流し



卒業式



部活動

熱中できることがあるから頑張れる

体育系・文化系ともにいろいろな活動が行われ、
全校生徒の90%以上が部活動に参加しています

体育系部活動 (11種)

陸上競技
硬式野球
卓球
ソフトテニス
ハンドボール
サッカー
バスケットボール
バレーボール
バドミントン
弓道
剣道

文化系部活動 (9種)

自然科学
放送
茶華道
書道
吹奏楽
軽音楽
美術
写真
インターアクト



卓球



バレーボール



自然科学(天文)



吹奏楽



ソフトテニス



バドミントン



放送



軽音楽



ハンドボール



弓道



茶華道(茶道)



美術



陸上競技



サッカー



剣道



茶華道(華道)



写真



硬式野球



バスケットボール



自然科学(科学)



書道



インターアクト

その他、個人の活動も応援しています！ 最近の活動 ▶ 水泳、新体操、クライミング、スキー、将棋



カリキュラム

学ぶ意欲を高め合う

豊かな人格と高い学力を目指すカリキュラム
令和元年度から「進学型単位制」に移行しました

習熟度別、進路別授業で、進路実現に向けてきめ細かい授業をおこなっています。

令和8年度入学者用教育課程(参考)

文理共通 1年	文系2年	文系3年	理系2年	理系3年
0	現代の 国語	論理国語	論理国語	論理国語
1	言語文化	古典探究	古典探究	古典探究
2	歴史総合	地理総合	地理総合	日本史探究 世界史探究 地理探究
3	公共	日本史探究 世界史探究	数学Ⅱ	数学Ⅲ
4	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学Ⅲ
5	数学Ⅱ	数学Ⅱ	数学B	数学B
6	数学A	数学Ⅱ	数学C	数学C
7	化学基礎	数学B 芸術特講A(学)	物理基礎	数学C
8	生物基礎	地学基礎	物理	物理
9	体育	体育	化学	物理
10	保健体育	保健体育	体育	化学
11	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語CⅡ	英語CⅡ	英語CⅡ
12	英語CⅠ	英語CⅡ	英語CⅡ	英語CⅡ
13	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	英語CⅢ
14	家庭基礎	情報Ⅰ	情報Ⅰ	論理・表現Ⅲ
15	総合探究	総合探究	総合探究	論理・表現Ⅲ
16	LHR	LHR	LHR	LHR

(学) …学校設定科目

※令科目名や時間数は変更になることがあります。

授業以外の取り組み

進学対策

1年

- 月金講座
- 夏季講座
- 模擬試験(全員参加 年3回)
- ハイレベル模試(希望者 年1回)
- インターンシップ(夏休み)
- 合格者と語る会

3年

- 早朝トレーニング
- 模擬試験(マーク・記述・小論文・看護・公務員)
- 放課後補習(英・数・国・理・地歴公民)
- 東大京大特別講座
- 夏季補習
- 共通テスト対策(12月～共通テスト前日)
- 国公立大二次試験・私大対策(共通テスト後～)

2年

- 月金講座
- 夏季講座
- 模擬試験(全員参加 年4回)
- ハイレベル模試(希望者 年3回)
- 学部学科説明会
- 東京大学見学(夏休み)
- インターンシップ(夏休み)
- Hida.T-Academia発表会
- 合格者と語る会
- 小論文・志望理由書指導
- 面接指導
- 添削指導
- 学部学科説明会

学習支援

- 1年ウォームアップクラス(4月)
国語・数学・英語:2時間
家庭学習の体験指導
- 少人数・習熟度別・進路別授業
1年 数学
2年 文系クラス 数学、英語
理系クラス 数学、物理、英語
3年 文系クラス 古典、数学、英語
理系クラス 数学、物理、英語

日課表

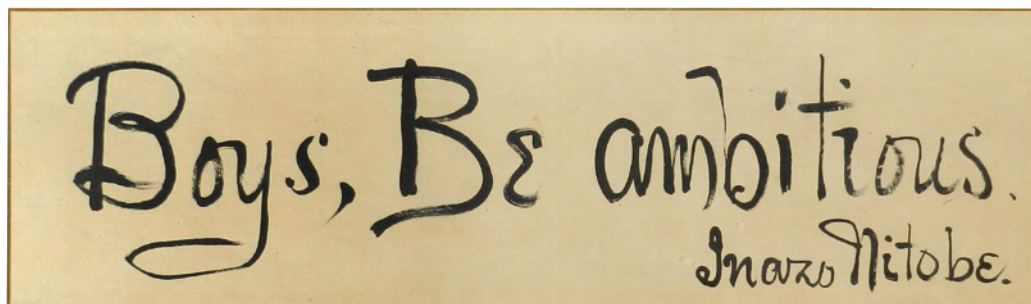
予 鈴	8:05	予 鈴	12:45
S H R	8:10～ 8:20	清 掃	12:50～13:00
第1限	8:25～ 9:15	第5限	13:05～13:55
第2限	9:25～10:15	第6限	14:05～14:55
第3限	10:25～11:15	第7限	15:05～15:55
第4限	11:25～12:15	S H R	15:55～16:05
昼 休	12:15～12:50		





進路

高い志を抱き、世界に羽ばたこう！



昭和36年8月、中33回卒の
荒垣秀雄氏により本校へ寄贈された
新渡戸稲造直筆の書

新渡戸稲造は国際連盟の事務次長を務めた農業経済学者、教育家、前の五千円札肖像の人物。
札幌農学校（現在の北海道大学）の二期生として入学。Boys, Be ambitious（少年よ、大志を抱け）
は、農学校に教頭として赴任したウィリアム・スミス・クラーク博士の言葉。

堅実な実績

国公立大学合格者

102名

（令和6年度卒業生）

国公立大学は毎年100名以上合格

東京大学(文科三類)	1名
大阪大学(外国語、工)	2名
名古屋大学(経済、医、工)	3名
筑波大学(芸術)	1名
金沢大学(人間社会、理工、理系一括、融合)	6名
岐阜大学(教、工、応用生物、医)	13名
神戸大学(経済)	1名

主な国公立大学

横浜国立大学	1名	静岡大学	6名
東京外国語大学	1名	名古屋工業大学	1名
東京海洋大学	1名	愛知県立大学	3名
千葉大学	1名	愛知県立芸術大学	1名
新潟大学	1名	名古屋市立大学	2名
山梨大学	3名	岐阜薬科大学	2名
富山大学	9名	大阪公立大学	2名
信州大学	2名		

私立大学合格者

406名

（令和6年度卒業生）

早稲田大学	1名
上智大学	2名
東京理科大学	1名
明治大学	4名
中央大学	2名
法政大学	4名
同志社大学	3名
立命館大学	24名
関西学院大学	1名
関西大学	8名
南山大学	12名
名城大学	32名
岐阜聖徳学園大学	32名

大学入学共通テスト出願者のうち、半数近くが国公立大学に合格

国公立大学 過去の実績

東京大学	神戸大学	新潟大学	名古屋工業大学
京都大学	国際教養大学	富山大学	岐阜大学
大阪大学	東京藝術大学	金沢大学	三重大学
名古屋大学	筑波大学	福井大学	滋賀大学
北海道大学	千葉大学	山梨大学	広島大学
東北大学	お茶の水女子大学	信州大学	東京都立大学
九州大学	東京外国語大学	静岡大学	愛知県立大学
東京工業大学	東京学芸大学	浜松医科大学	名古屋市立大学
一橋大学	横浜国立大学	愛知教育大学	大阪公立大学 …などに合格

私立大学 過去の実績

慶應義塾大学	法政大学	関西大学
早稲田大学	明治大学	中京大学
青山学院大学	立教大学	藤田医科大学
学習院大学	同志社大学	岐阜聖徳学園大
国際基督教大学	立命館大学	愛知大学
上智大学	東京理科大学	…などに合格
中央大学	京都薬科大学	
津田塾大学	南山大学	
東京農業大学	名城大学	



実践

伝統と革新 進み続ける教育実践！

地域課題探究型学習推進事業(教科横断型)



探究学習から生まれた
生徒企画のツアー
GO! GO! プロジェクト

● 予測困難な時代に学び続け、
教科横断的な考え方やグローバルな
視点をもって活躍できる人材育成
● 地域と協働した教育実践
● 斐太高校でしかできない教育活動に
取り組みます。



地域課題探究型学習推進事業 2本の柱

斐太高校探究プロジェクト

1年次

「探究スキルの習得」

共通のテーマをもとに探究学習の基礎を学びます。

- 笑顔いっぱいプロジェクト
- 地域の歴史に関する探究
- 数学、理科、情報の分野に関する探究
- 人材育成プログラム など

将来求められる スキルの育成

問題発見力 的確な予測
革新性 教科横断的な考え方
グローバルリーダー

2年次

「グループまたは個人での探究」

それぞれの興味・関心に合わせて探究する分野、テーマを選択し、探究学習に取り組みます。

- 飛騨地域の活性化に関する探究
- 数学、理科、情報の分野に関する探究
- 自由な発想で設定したテーマに基づく探究

心のエンジンの 駆動

主体的な取り組み
興味・関心への気づき
様々な社会資源への接触



飛騨高山学会での発表



人材育成プログラム



Hida.T-Academia発表会

コミュニケーション能力育成プログラム

地域と世界を繋ぐ グローバル教育

- クラス対抗ディベート大会 (1月)
- オーストラリアへの海外研修 (3月)



クラス対抗ディベート大会

主な年間計画

- | | |
|-----|--|
| 7月 | 探究プロジェクト相談会 |
| 10月 | 人材育成プログラム |
| 12月 | 探究プロジェクト校内選考会 |
| 1月 | Hida.T-Academia探究プロジェクト発表会
(高山市民文化会館) |



オーストラリア海外研修

自分の夢をかなえた先輩たちからのメッセージ

令和6年度卒業生
富山大学
教育学部
共同教員養成課程



河合 愛結奈
(松倉中学校出身)

後悔しても、仲間と高めあえた高校生活

私は、斐太高校で部活（陸上部）と勉強の両立に取り組みながら、とても充実した高校生活を送ることができました。高校生活序盤は予習や復習が多く、慣れない生活の中で気を抜かず大変でした。そして、小テストの頻度も多く、中学校との違いを実感しました。小テストは1年のうちからしっかり取り組むことをおすすめします。

私が高校生活で後悔していることは、進路を早く決められなかったこと、受験勉強を始めたのが遅かったことです。そのため目標が定まらず、何から手を付けてよいかかわからず、モチベーションが上がらない時期があったりしました。また、数Ⅲをとらない選択をしたことで、選択肢が狭まり、後悔することもありました。やはり、進路を決めておくモチベーションをあげて、受験に必要な科目や勉強法を早

い段階で知ることができます。

そんな高校生活の中、私は周りの人の大切さを改めて実感しました。斐太高校には目標に向かって頑張る人が多いです。勉強も部活も仲間が頑張っている姿をみて私も頑張ろうと思えたり、互いに高めあいながら自分をより成長させることができました。悩んだ時には先生方に相談をしに行くと、親身になって話を聞き、一緒に考えてくれました。悩んだ時は一人で抱え込まず周りの人を頼ることが大切です。

最後に、勉強はもちろん大切ですが、斐太高校は自由な校風なので、行事や部活動など様々なことに挑戦し、力を注いでください。そうすれば、卒業した時、高校生活を楽しんだ、やりきったと思えるようなすばらしい思い出ができるはずです。皆さんの高校生活が充実したものになるよう、心から応援しています。

令和6年度卒業生
大阪大学
工学部
地球総合工学科



久田 那由多
(東山中学校出身)

今、何をすべきか、自分で考えて実行する

私は斐太高校の本当の魅力は学校の雰囲気と行事の豊富さにこそあると思います。斐太高校には球技大会、文化祭、体育祭などのいろいろな行事があり中学校よりも規模も充実感も大きいです。特に私は文化祭が好きでクラス展示のためにみんなで放課後準備したり、軽音部のライブがあったり、THE文化祭って感じでめちゃくちゃ楽しいです。斐太高校では生徒の自主性が重んじられており、自由に生活することができます。この勉強以外の楽しさの部分は斐太高校以外では得られなかったと思うし、これだけでも斐太高にきてよかったと思います。そして何より私は斐太高校の先生方がすごく好きです。先生方は普段は気さくに明るく接して、勉強を教え、進路選択のときには親身に寄り添って一緒に考えてくれます。

皆さん、大学受験で勝つ人はどんな人だと思いますか？私は「考えて努力のできる人」だと思います。高校に入ると小テストや予習な

どこれまでとは違うことがあります。でもすぐに慣れるので心配はいらないです。それよりも大事なのはどんなふうに勉強するかということです。高校では中学よりも高度な内容を学ぶため、ただがむしゃらにやるだけの勉強では成績は上がりません。自分の最終的な目標を達成するために、今何をすべきか常に自分で考えながら計画を立て、それを淡々とこなすことで成績は上がります。

斐太高は自主性を重んじる学校です。先生からもこれをやれ、あれをやれと強制されることも少ないです。だからこそ、自分で考え、主体的に勉強する姿勢が求められるのです。勉強していて楽しいことも辛いこともほうが圧倒的に多いですが、やり切ったあとには自分が成長できたという確かな実感や自信を得ることができます。斐太高校に入っていなかったらこんなにも楽しく充実した3年間を過ごすことはできませんでした。みなさんが最高の高校生活を送れることを心より願っています。

令和6年度卒業生
岐阜薬科大学
薬学部
薬学科



今井 希海
(萩原南中学校出身)

通学移動中に学習する工夫、行事への積極的な参加を

私は斐太高校にて3年間学んだことが、受験の際に大いに役立ったと感じています。私は自分から進んで家で勉強するような性格ではなく、気を抜いたらすぐに怠けてしまうと思っています。しかし斐太高校では放課後の講座や日々の小テストなどが充実しており、それらの講座に積極的に利用し、小テストを忘れないようにすると自然と勉強するための習慣が作られていきました。また、私は萩原出身で毎日往復二時間程度の移動時間があり、負担ではあったのですが、電車の中での勉強というのも三年間続けました。遠いことを不利と思わず、サボらずにやっておくことをお勧めします。

私は推薦入試で合格をすることができました。推薦の志願理由書を書く際には担任の先生だけではなく、志望校の分野について詳しい先生にも相談に乗ってもらい書き上げました。面接練習では志望

理由書の内容から質問内容について検討し、また多くの質問に答えることで対応力を高めることができました。出願時から受験時まで手厚くサポートしていただき、安心して受験に臨むことができました。

斐太高校は、学校行事についても充実しています。蜻蛉祭ではクラスごとに思い思いの展示を考え、とてもよい思い出を作ることができます。特に三年次での劇においては一生の思い出になるでしょう。また、私は行事の係には積極的に参加することをお勧めします。私は三年次での蜻蛉祭の際に実行委員に立候補しました。本番近くでは夜遅くまで学校に残ってのリハーサルなど大変な面もありますが、その分本番を無事に成功させた時の達成感は得難いものがあります。

斐太高校では楽しいことも大変なこともあります。将来においてきっと役立つと思います。皆さんも頑張って充実した高校生活にしてください。

令和6年度卒業生
九州歯科大学
歯学部
歯学科



田本 晃雅
(日枝中学校出身)

高校入学はゴールではなくスタート

斐太高校は、生徒一人一人を大人として扱い、信頼しているので生徒に任される場面が中学校よりも多いです。節度と規則を守ってさえいれば、自由にできる学校だと思います。反面、自由ということは、責任は生徒にもあるということです。学習では、課題を出さない、小テストの追試を受けないなどがあった際に、中学のときは先生がうるさいほど言ってくれたかもしれませんが、高校ではひと言だけです。部活においても、先生が指示を出すことは少なくなり、部長を中心とした生徒主体の練習になります。文化祭で何をやるかも生徒が決めます。決定権が自分たちにあるということの重みを感じます。

個人的には、学習内容が難しいと感じることが中学校のときよりもはるかに増えました。中学のときに得意だと思っていた科目が高校に入って、全然分からないと思うことも多々ありました。また、自分で勉強する習慣がないと授業についていけなくなります。良かった

ことは周りのレベルが高いということです。自分と同じぐらいの学力の子とテストの点で競い合うことや、自分よりも賢い人がたくさんいた環境があったことは、良い刺激になりました。僕が歯科医師として人々の健康を守りたいと思ったのは、高校1年生の11月頃でした。それまで薬剤師になりたいと思っていたのですが、色々な職業や大学を調べているうちに変わっていきました。将来の夢を早めに決めておくことで、自分はどの大学に、どの学科に行かなければならないのか明確になり、勉強するモチベーションにも繋がります。

斐太高校に入る人の大半が大学進学のためだと思います。つまり、この高校に入るのにはゴールではなくて、やっとスタートラインに立ったということになります。部活動や行事を全力で楽しんでいて時間はあっという間に過ぎていきます。時間は有限なので、悔いの残らない高校生活を送ってください。応援しています。

令和6年度卒業生
名古屋大学
工学部
環境土木・建築学科



内海 志菜
(古川中学校出身)

授業を大切に、学校主催のイベントに参加しよう

私が本格的に受験勉強を始めたのは高校3年生になってからです。それまではテスト前に焦って一気に勉強していたので、勉強する習慣がついていなくて苦労しました。それでも頑張れたのは、友人の存在があったからだと思います。斐太高校の良いところは高い志を持つ仲間がたくさんいるところだと感じます。自分1人だとモチベーションが保てないですが、集中して勉強する仲間の姿を見ただけでも、自分もやらなければという気になります。加えて、小テストを通して基礎的な知識を定着させ、応用的な問題に取り組む時間をとることができたのも合格の要因だと思います。入学してすぐは小テストの多さに戸惑いましたが共通テスト前に小テストの重要性を実感しました。

私から中学生の皆さんに伝えたいことは、まずは学校の教材やテ

ストにきちんと取り組んでほしいということです。私の場合は色々な参考書をやるより、学校で買った教材を丁寧に取り組む方が合っていました。

斐太高校で行われる様々なイベントに参加してみるのも面白いと思います。私は東大見学に行ったり、オーストラリア研修に参加したりしました。特にオーストラリア研修では英語で会話する経験ができたのが良かったし、一緒にホームステイした斐太高生とは絆が生まれて、日本に帰ってきた後も仲良くできたことが嬉しかったです。他にも、職場体験で裁判所や市役所に行きました。また、集中学習会というのもありました。中学校に比べて高校では自由度が上がるので、少しでも興味を持ったら行動するべきだと思います。

高校に入ると不安もたくさんあると思います。でも、きっと大丈夫です。ぜひ3年間を楽しんでください。

令和6年度卒業生
岐阜大学
医学部
医学科



中田 美咲
(中山中学校出身)

高い目標、勉強と部活動の両立、そして仲間

私が斐太高校に入学した理由は、大学に進学したかったからです。しかし、私は勉強1つでは気が重くなり、自分には合っていないと思っていました。そこで、勉強にも部活にも力を入れている斐太高校で大学進学を目指そうと考えました。

高校では、中学校までとは比べ物にならないくらいの授業スピードです。授業についていくのは大変でした。しかし、授業の内容は授業時間で完結ではありません。前日の予習、授業、そして問題を通しての復習を一通りやることによって、初めて「勉強した」と言えると考えています。だから、日々の予習や復習を欠かさず行いました。斐太高校では、授業をわかりやすく、入試に出やすいポイントや考え方も押さえて行っています。まずは授業に一生懸命取り組んでみて下さい。

斐太高校では、部活動でも熱い指導をして下さいます。私は、弓道部に所属し、部長を務めていました。弓道部は週5日練習があり、定期テストの前に大会が行われることもありました。勉強と部活の

両立が大変だということもありました。しかし、部活が楽しかったので、部活を辞める選択肢は私の中ではありませんでした。隙間の時間を利用して勉強に取り組みました。また、高い目標を持って勉強や部活に打ち込む仲間が周りにいました。周りの仲間とお互いに競い合い、お互いを高めてきました。このように、切磋琢磨できる仲間に出会えたのも斐太高校に入学したからこそだと思います。

中学校の頃は勉強量に比例して成績が伸びていました。しかし、高校2年生の時、勉強をしても成績が思うように伸びなくなる壁に直面しました。苦しい中でも、私が中学生の頃から目指していた医学部を最後まで諦めずに目指し続け、合格できたのは希望を持ち続けてくれた先生方がいたからです。腐ることなく努力し続けることができました。

斐太高校に入学後、自信を失うことも多々あると思います。必ず先生のサポートや仲間との絆で乗り越えることができます。頑張ってください。

令和6年度卒業生
静岡文化芸術大学
デザイン学部
デザイン学科



今井 弘人
(萩原北中学校出身)

諦めない心と粘り強く行う力

斐太高校へ入る皆さんへまず伝えたいのは、目標に対して諦めないことです。高校へ入学した当時の私は、中学生のところに毎日の学習習慣を身につけられていなかったために、小テスト・復習・自習・週末課題などをやりきれず、気づけば周りとの学力の差がとてものでしていました。そんな私はどこかで諦めて、ラクな方を選びがちになりました。しかし大学受験をより意識するようになって、勉強にも力を入れ、2次試験対策のデッサンも本格的に取り組み始めました。共通テストの判定はEと厳しいものでした。最後まで諦めずにやりきり、結果合格することができました。諦めない心と粘り強く行う力を皆さんに持ってもらいたいです。

そして皆さんに伝えたいことが3つあります。1つ目は1年生の間に進路を大まかに決めておくこと。これにより1年生後半から始まる文理選択の決定に迷わず、後悔しません。2つ目は大学の入試要項は早い段階で目を通しておくことです。学科科目や必要書類など、中には評定条件など3年生になってからでは何となくにくいものもあります。3つ目は友達や先生、親とのつながりを大切にすることです。私が3年間の学校生活を充実なものにできたのも周りの存在があったからだと思います。また受験期には切磋琢磨できる友達がいて、夜遅くでも対策につきあってくださった先生がいて、受験のもろもろのことに対応してくれた親がいてくれたおかげで合格することができたと思います。

また斐太高校は、学習面だけでなく行事面でも充実しています。私は体育祭でマスコット長を、蜻蛉祭ではエンディングでダンスを披露しました。何より普段の生活では味わえない特別なイベントだと思います。ここで新たな友達に出会って、普段見ることのできない友達の一面も知れて、より仲が深まります。楽しみにしててください。

最後に、斐太高校は目標に向かって努力する人を全力で応援してくれる環境です。恐れず挑戦してってください。

令和6年度卒業生
東京外国語大学
言語文化学部
朝鮮語学科



内木 琴菜
(北稜中学校出身)

大学受験は自分の未熟な部分を乗り越えること 進路で悩む人こそ限界を作らない

自分のやりたいことに挑戦して、そしてそれを全力で応援してくれる仲間や先生に出会って、私は斐太高校に進学して本当に良かったと思っています。私は入学前から斐太高校でやりたかった部活動が2つあったので兼部することを選びました。軽音楽部と美術部です。そのため普段の活動に加えて文化祭や体育祭で係を担当することも多く、年間通して大変でしたが充実した3年間でした。最初こそ、うまく2つの部活動と勉強を両立させることができず、どちらかを辞めようかと悩んだ時期もありました。しかし、活動が続けるうちに想像もしなかった大きな舞台に立ち、たくさんの人と出会うことができました。

そんな部活ばかりの生活を続けていたら、オープンキャンパスにも行かず、大学受験についてほとんど何もわかっていない状態で3

年生になりました。これについて私はかなり後悔しています。大学受験は私が思っていたよりも手続きが複雑で、期限も厳しいです。正直勉強よりもこれに苦労しました。1、2年の時間のある時に、たくさん調べて大学受験について自分なりにイメージを持っておくことや実際に色々な大学を積極的に見に行ってみるといいと思います。そうすればより全力を出せたと感じています。

進路が定まらず悩むこともあるかと思いますが、そういう人こそ自分で限界を作らず視野を広げてみてほしいです。それでも自分だけでは行き詰ってしまう時があります。そんな時は周りを頼りましょう。私は大学の二次試験でスピーキングと英作文がありましたが、1人で対策をするのはかなり難しかったので先生に指導を依頼しました。自分の未熟な部分からは目を背けがちですが、それを乗り越えるのが大学受験なのだと、受験を経験してそう思いました。

令和6年度卒業生
東京大学
文科三類



林 健太郎
(国府中学校出身)

目標を諦めず、努力を継続する

斐太高校は、親身になって受験に寄り添ってくれる仲間や諸先生方に恵まれた飛騨随一の素晴らしい学校だと思います。先生方は学習の相談など幅広い要望に応え、受験でつらくなった時には優しい言葉で不安を払拭してくれました。また、仲間が切磋琢磨しあえるかけがえのない大切な存在で本当に支えになりました。

私は弓道部を三年間続けました。部活と勉強を両立することは、容易ではなかったし、東大の対策を本格的に始めるようになるとさらに厳しくなりました。私が東京大学を志望したのはドラゴン桜と逆転裁判の法曹達に憧れを抱いたこと、進振り制度で二年間進路を大学で悩めること、最高峰の大学で目指し甲斐があったことなどが主な理由です。私は目標を諦めず努力し続けることをモットーに頑張りました。それを耐え抜いたことで、得られた力の価値はとても大きなものです。受験勉強と学校生活を両立していく中で、時間をどう

使い、どう学習すれば成績が伸びるのかという計画性は特に工夫しました。これも将来絶対に役に立つ力だと思います。また、弓道部の結束力は強く、生涯忘れることのない思い出を作ることができました。部活に入ることによって諦めない力など社会に出て通用する力を涵養することができました。

すべての物事において、明確な目標をもって、そこに向けた努力をどんな環境下でも続けることのできる人間は絶対に成功します。どうか、この大学受験という人生の一大イベントを通して、述べてきた大切な力をこの斐太高校という豊かな学び舎で涵養していきましょう。

斐太高校の学校行事は、球技大会に始まり白線流しに終わる、素晴らしい伝統と仲間を大切にできる楽しい行事がいっぱいです。個人的には、斐太高校の校歌や巴城が丘別離の歌がとても好きです。

令和7年
前期生徒会長



吉村 賢哉
(日枝中学校出身)

たくさんの「全力」から刺激を受けよう

私の考える斐太高校の魅力の1つは、そこにいる「人」だと思います。高校という場所には中学校よりも広い地域から人が集まってきます。すると必然的に今までに出会ったことがない人にたくさん出会うことになります。勉学に全力な人、部活に全力な人、行事や生徒会活動に全力な人、たくさんの全力に囲まれながら毎日たくさんの刺激を受けることで、自分を成長させることができます。そして、斐太高校の多くの生徒が大学進学という共通の目標を持っています。これだけの人数が同じ方向を向いて生活している環境はなかなかありません。頑張る仲間の姿を見て、「自分も頑張ろう」と思い、互いに切磋琢磨できる環境が斐太高校にはあります。そして、そう思った私たちを先生方は全力で応援してくれます。学習に関する質問はもちろん、進路に関わることまで根気よく親身になって応えてくれます。

「人」以外にも魅力はまだあります。例えば「行事」。私は、文化祭（蜻蛉祭）を1番はじめに思いつきます。斐太高校では1、2年生は各クラスの展示を、3年生は各クラスで演劇を行います。生徒が中心となり計画から買い出し、展示制作、当日の運営まで行い、自分たちで行事を作り上げます。完成した時の達成感は格別です。また有志によるパフォーマンスや吹奏楽部の演奏会、軽音楽部によるライブも見どころです。私は、1年生の時に観た軽音楽部のライブの時の会場の熱気、一体感を忘れることができません。

斐太高校では、個性あふれる人に囲まれながら勉学で、部活で、行事で、様々な活動を通して仲間と高めあい、最高の高校生活を送ることができます。一度しかない高校生活を斐太高校で送ってみませんか？振り返ったときに、必ず良かったと思える、そんな高校生活を送ることを心から祈っています。

「懐かしい三星霜 思い出さそう 鐘は鳴る」



校舎の脇の一角に立ち、年一度、白線流しの開始の合図にのみ鳴らされる「平和の鐘塔」。これは、すべて生徒の手で企画や資金募集をおこなって完成した生徒会活動の金字塔なのです。

「平和の鐘塔」建設の声は、昭和25年の朝鮮戦争勃発に対し、世界戦争への不気味な前兆と受け止めた生徒たちの中から、平和問題を真剣に考えていく象徴として作ろうとする声があがってきました。その後、全校生徒の理解を得るために、議会や生徒集会、各ホームルームでくり返し話し合いをおこなって、生徒会の一大事業として建設することが決まりました。それ以後、生徒会による積極的な募金活動がおこなわれ、昭和27年12月8日、3年越しの悲願が実って「平和の鐘塔」が完成しました。

この鐘の音とともに、平和な世界がいつまでも続くように願った先輩たちの精神を心に刻み、斐太高生は卒業していきます。



岐阜県立斐太高等学校

〒506-0807 岐阜県高山市三福寺町736番地 Tel.0577-32-0075 Fax.0577-32-9006
URL <https://school.gifu-net.ed.jp/hida-hs/> E-mail c27337@gifu-net.ed.jp

